

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
(ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
(ホ)本書のご提示がない場合
(ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
(ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
(チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	Bluetoothテレビ用スピーカーシステム			★お買い上げ日:	年	月	日
型番	ASP-W753Z	品番	03-1000	保証期間: 本体1年間(お買い上げの日から)			
お客様	ふりがな ★お名前 様						
	★ご住所 〒 ー						
	電話 ()						
修理メモ							
販売店	★住所 店名 電話						
	(印)						

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

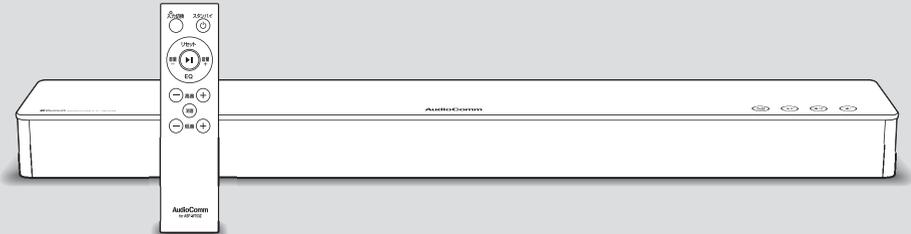
製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは 0120-963-006 048-992-2735
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

AudioComm®

保証書付 取扱説明書

Bluetoothテレビ用スピーカーシステム

型番: ASP-W753Z 品番: 03-1000



このたびは、AudioComm® Bluetooth テレビ用スピーカーシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目次

免責事項	1	電源のオン/オフとスタンバイモード	9
安全上のご注意	1~3	操作方法	9~10
Bluetoothについて	4~5	Bluetoothで音楽を聴く	11~12
各部の名称	6	故障かなと思ったら	13
乾電池の入れかた(リモコン)	6	お手入れのしかた	13
電源について	7	主な仕様	14
テレビやBD/DVDレコーダー・プレーヤーと接続する	7~8	保証書とアフターサービスについて	14
		保証書	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「感電注意」が描かれています。
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。

警告

 22cm以上離す	心臓ペースメーカーを使っているときは装着部位から22cm以上離す ●電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。	 分解禁止	分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。
 コンセントから抜く	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに本機の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して、販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。	 水かけ禁止	浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない ●感電や故障の原因となります。
 接触禁止	万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止し、ACアダプターをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。	 禁止	医療機器の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。 表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない ●火災・感電の原因となります。 自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●火災の原因となります。
 修理を依頼	雷が鳴り始めたら、安全のため本機及びACアダプターに触れない ●感電の原因となります。		狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機やACアダプターを新聞紙やテーブルクロス、カーテン、布団、敷物などで覆わない ●熱がこもって変形したり、火災の原因になることがあります。
 付属品を使う	ACアダプターのコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。		本機やACアダプターの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
 必ず守る	本機を使用するときは、必ず付属のACアダプターを使う。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使わない ●付属のACアダプターは本製品専用です。 ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因になる場合があります。		本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない ●火災・感電の原因となります。
	ACアダプターはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続する ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切ただけでは、完全に電力を遮断できません。異常が生じたときには、すぐにACアダプターを家庭用コンセントから抜いてください。		本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない ACアダプターを傷つけたり、加工したり、コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●破損して火災・感電の原因となります。
			リモコンから取り外した乾電池は、小さなお子様に触らせない ●幼児の手の届かないところに保管してください。

注意

 コンセントから抜く	お手入れの際や移動させるときはACアダプターをコンセントから抜く ●火災・感電の原因となることがあります。	 コンセントから抜く	長期間本機を使わないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く ●火災の原因となることがあります。
--	--	--	--

⚠ 注意	
 ぬれ手禁止	ぬれた手で操作しない ●感電の原因となることがあります。
 掃除をする	ACアダプターとコンセントの接続部を定期的に掃除する ●ACアダプターとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
 音量を抑える	大音量で聴き続けず。また、電源を切る前に音量を抑える ●大音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。 ●大音量のまま電源を切ると、次に電源を入れたとき、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
 極性に注意	乾電池の極性に注意する ●リモコンに乾電池を入れる際は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れてください。間違えると電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 禁止	指定以外の乾電池は使わない ●破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 禁止	自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。
 禁止	シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない ●変形・変色の原因となります。



禁止

本機の上面(ガラス面)に物を落としたり、叩いたり、熱い物や重い物を載せたり、水分をこぼしたり、刃物などで衝撃を加えない
●ガラスが破損してけがをしたり、故障や故障、変形、変色の原因となります。

暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のある場所に置かない
●破損・故障の原因となります。

ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない
●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●必ずプラグ部を持って抜いてください。

ほこりの多い場所に置かない
●火災・感電の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない
●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

日本国以外では使用しない
●本製品は日本国内専用です。
●日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。
●海外では国によって電波使用制限が異なるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。



警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない

- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。



注意

- ・⊕⊖の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使う
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときはそれに従って廃棄してください。

Bluetoothについて

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、本機の場合、近距離(最大約10m以内)であれば、どこにいても無線通信により音楽を楽しむことができます。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本機は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本機のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。

【対応バージョン】 Bluetooth標準規格 Ver.5.0 / 2.1+EDR

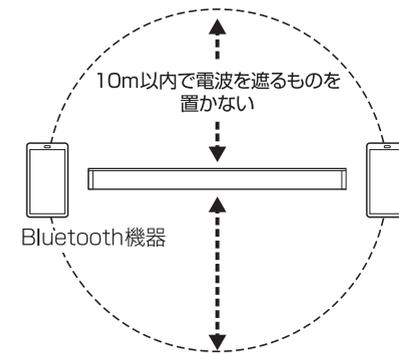
【対応プロファイル】 A2DP(高音質な音楽コンテンツを送信するためのプロファイル)

AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)

※本機はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

通信可能範囲について

本機の通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。



セキュリティについて

本機はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本機の機器認定について

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼ってある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。



本製品は日本国内でのみ使用できます。

使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

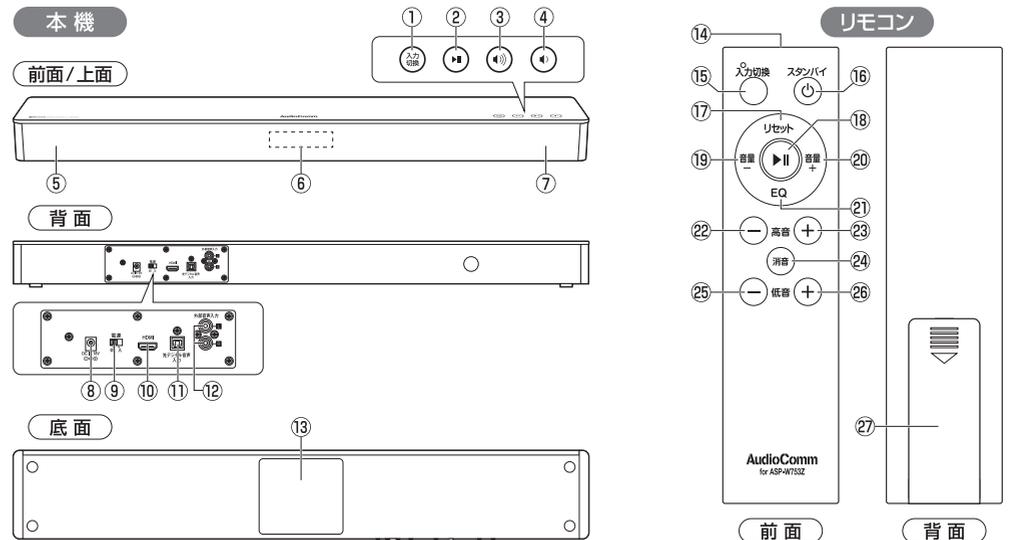
1. ご使用前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室(裏表紙)までお問い合わせください。

Bluetoothについて(つづき)

医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
 - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
 - ・病棟内では本機を使わない。
 - ・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
 - ・その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

各部の名称



- | | | | |
|-------------------------|----------------------------|-------------|-------------|
| ①入力切換ボタン | ⑧DC IN端子 | ⑮入力切換ボタン | ⑲高音調整ボタン(+) |
| ②再生/一時停止ボタン | ⑨主電源スイッチ | ⑯スタンバイボタン | ⑳消音ボタン |
| ③音量ボタン(+) | ⑩HDMI端子 | ⑰リセットボタン | ㉑低音調整ボタン(-) |
| ④音量ボタン(-) | ⑪光デジタル音声入力端子 | ⑱再生/一時停止ボタン | ㉒低音調整ボタン(+) |
| ⑤左スピーカー | ⑫外部音声入力端子
(RCA L / R端子) | ⑲音量ボタン(-) | ㉓電池カバー |
| ⑥インジケータ部
(リモコン信号受信部) | ⑬ウーファー | ⑳音量ボタン(+) | |
| ⑦右スピーカー | ⑭信号送信部 | ㉑イコライザーボタン | |
| | | ㉒高音調整ボタン(-) | |

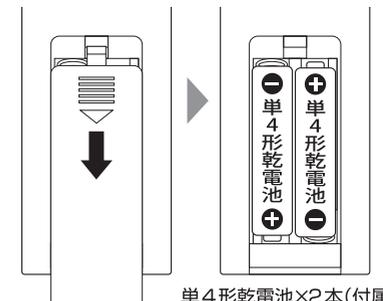
ご注意

本機上面のガラスは強化ガラスを使用していますが、以下の点に十分ご注意ください。ガラスが破損してけがをしたり、故障や変形、変色のおそれがあります。

- 本機を落とさない
- 上から物を落とさない
- 熱いものや重いものを載せない
- 水分をこぼさない
- 刃物などで衝撃を加えない

乾電池の入れかた(リモコン)

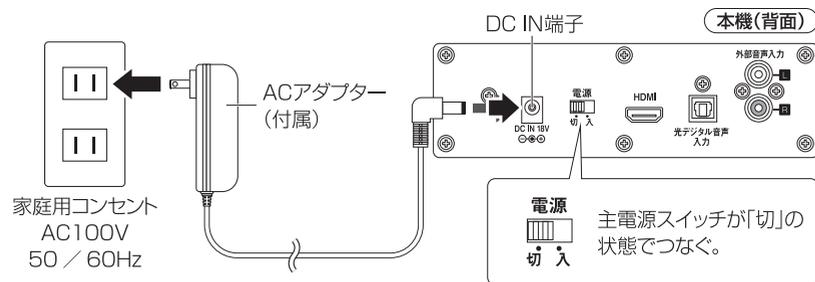
- 1 罅部を押しながら電池カバーを下げ、取り外します。
- 2 単4形乾電池×2本(付属)を、⊕⊖の向きに注意しながら、図のように正しく入れます。
 - ・コイルばねのあるほうが⊖です。⊖側から先に入れてください。
 - ・付属の乾電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります(保証対象外となります)。
- 3 電池カバーを元どおりに正しく閉めます。



単4形乾電池×2本(付属)

電源について

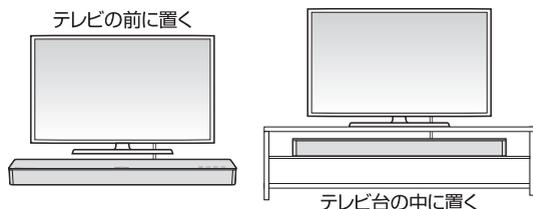
付属のACアダプターを使って、本機のDC IN端子と家庭用コンセントをつないでください。
ACアダプターを抜くときは、事前に必ず本機の電源を切ってください。



ご注意 付属のACアダプターは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

設置方法

テレビの前に置か、テレビ台の中に置いて、お使いになることをおすすめします。



ご注意 テレビの前に置くときは、テレビのリモコン信号受光部がさえぎられないようにしてください。

テレビやBD/DVDレコーダー・プレーヤーと接続する

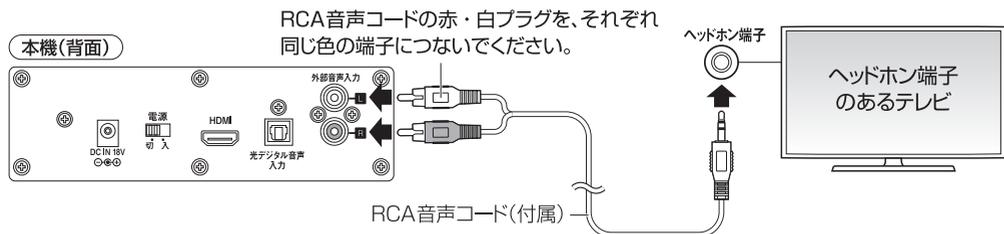
本機及びテレビ、BD/DVDレコーダー・プレーヤーの電源が切れた状態で接続してください。

以下の接続方法は一例です。テレビやBD/DVDレコーダー・プレーヤー付属の取扱説明書なども参照し、それぞれの機器にある接続端子に応じて接続してください。

テレビとの接続方法

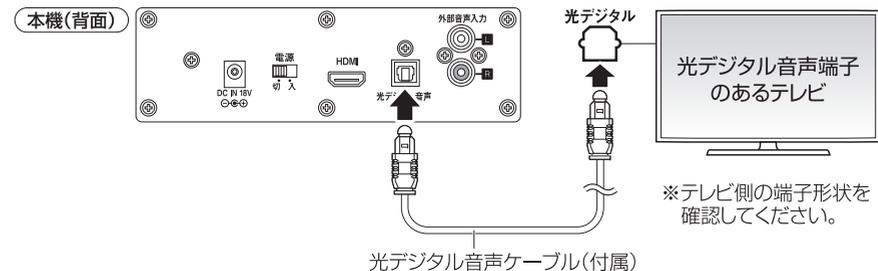
RCA 音声コードによる接続

テレビにヘッドホン端子(φ3.5mmステレオミニジャック)がある場合は、付属のRCA 音声コードを使って、本機の外部音声入力端子(RCA R / L端子)とテレビのヘッドホン端子をつなぎます。



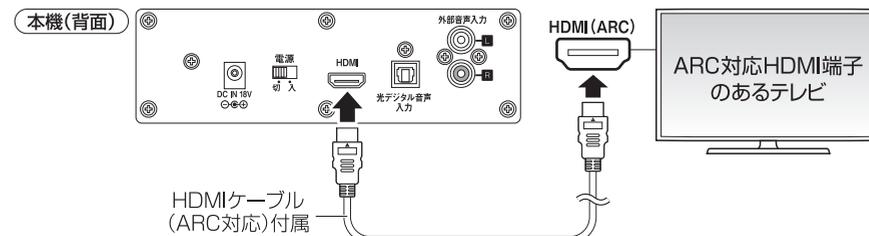
光デジタル音声ケーブルでの接続

テレビに光デジタル音声端子がある場合は、光デジタル音声ケーブル(付属)を使って、本機の光デジタル音声入力端子とテレビの光デジタル音声端子をつなぎます。光デジタル音声端子の形状には、角型(本機はこのタイプです)と光ミニプラグがあります。テレビの端子が光ミニプラグの場合は、別途、角型-光ミニプラグタイプのケーブルを購入のうえ、接続してください。



HDMIケーブルでの接続(ARC対応HDMI端子があるテレビのみ)

テレビにARC対応HDMI端子がある場合は、付属のHDMIケーブル(ARC対応)を使って、本機のHDMI端子とテレビのARC対応HDMI端子をつなぎます。この場合、テレビのARC対応HDMI端子に入力と記載があっても接続可能です。

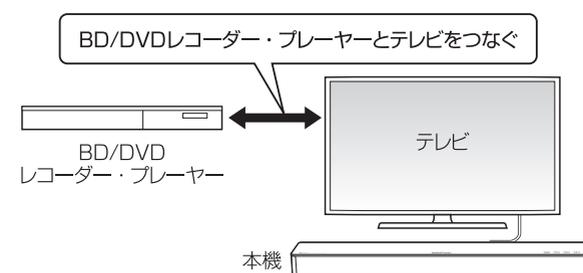


ヒントとご注意

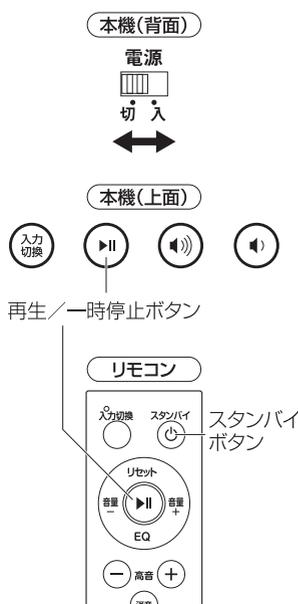
- ARCについて：Audio Return Channelの略で、音声データを接続機器間で双方向に受送信できるHDMI規格のことです。本機はこの規格に対応しており、テレビのHDMI端子がARC対応であれば、テレビ側で受信した音声を本機に送って出力することができます。ただし、テレビのHDMI端子がARC非対応・入力用の場合は、本機での音声出力はできません。他の方法にて接続してください。
- 付属のHDMIケーブルではなく、市販のARC非対応HDMIケーブルでは、正しく音声が出力されないことがあります。市販品を使う場合は、ARC対応と明記されたHDMIケーブルの使用をおすすめします。

BD/DVDレコーダー・プレーヤーを使うときの接続方法

本機・テレビ間の接続に加えて、BD / DVDレコーダー・プレーヤーの音声出力端子と、テレビの音声入力端子を、それぞれの端子に適したコードでつないでください。詳しくは接続する機器付属の取扱説明書をご確認ください。



電源のオン／オフとスタンバイモード



電源オン

本機背面の主電源スイッチを「入」に合わせると電源が入ります。インジケータ(赤)が点灯した後、モードに応じたインジケータ表示に変わり、使用可能な状態になります。

電源オフ

主電源スイッチを「切」に合わせます。インジケータが消灯します。

スタンバイモード

電源が入っているときに、リモコンのスタンバイボタンを押すか、本機またはリモコンの再生／一時停止ボタンを長押しすると、スタンバイモードになります。スタンバイモードではインジケータ(赤)が点灯します。もう一度、同様のボタン操作をすると電源が入ります。

ヒントとご注意

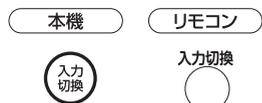
- 最後に使っていたモードが保持され、もう一度電源を入れたときは、最後に使っていたモードで立ち上ります。
- 長時間使わないときは、節電及び安全のため、主電源スイッチを「切」に合わせて、電源を切ってください。
- ボタン操作時は、押すたびにインジケータ(緑)が一時的に点灯します。

操作方法

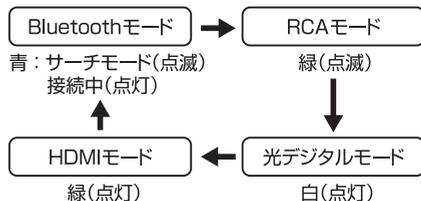
P.7～9を参照して、事前にテレビなどの音源機器と本機を正しく接続してください。ここでは、RCA音声コード、光デジタル音声ケーブル、HDMIケーブルで接続した場合の操作方法を説明します。Bluetooth接続時の操作は、P.11～12をご参照ください。



- 1 本機背面の主電源スイッチを「入」に合わせます。テレビやBD/DVDレコーダー・プレーヤーの電源も入れてください。

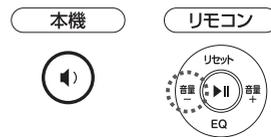


- 2 本機またはリモコンの入力切換ボタンを押して、接続に合わせたモードに切り換えます。入力切換ボタンを押すたびに、モードが切り換わります。モードに応じてインジケータの色が変わります。



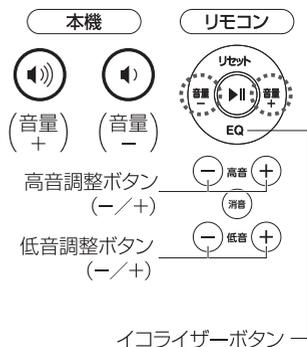
ご注意

- 接続する機種によっては、テレビ側で音声出力先の切換が必要な場合があります。正しく操作しても音声が本機から出力されないときは、機器に付属する取扱説明書などで、テレビ側の設定をご確認ください。



- 3 本機またはリモコンの音量ボタン(−)で、音量を抑えます。
 - ・ボタン操作に応じて、インジケータ(緑)が短く点灯し、最小になるとインジケータ(赤)も同時に点灯します。
 - ・35段階で調節でき、初期設定では24レベルに設定されています。

- 4 接続した機器の電源を入れ、以下の操作をします。
 - テレビの場合：ご覧になりたい放送局を選局します。
 - BD/DVDなどの場合：再生を開始します。



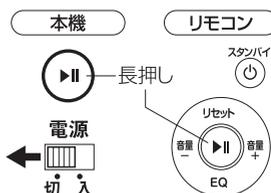
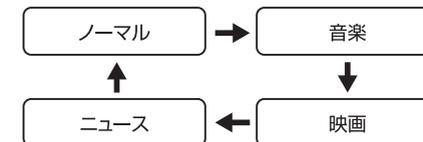
- 5 本機またはリモコンの音量ボタン(−/+)で、音量を調節します。
 - ・ボタン操作に応じて、インジケータ(緑)が短く点灯し、最大／最小になるとインジケータ(赤)も同時に点灯します。
 - ・35段階で調節でき、最大音量に達すると電子音が鳴ります。
 - ・長押しすると、音量の増減スピードが速くなります。

音質の調整

高音調整ボタン(−/+)と低音調整ボタン(−/+)で、お好みの音質に調整することができます(8段階)。ボタン操作に応じて、インジケータ(緑)が短く点灯し、最大／最小になるとインジケータ(赤)も同時に点灯します。

イコライザー

リモコンのイコライザーボタンを押すと、プリセット登録された音質を楽しむことができます。ボタン操作に応じて、インジケータ(緑)が短く点灯します。



- 6 終了するときは、リモコンのスタンバイボタンを押すか、本機またはリモコンの再生／一時停止ボタンを長押しします。
 - ・インジケータ(赤)が点灯し、スタンバイモードになります。
 - ・長時間使わないときは、主電源スイッチを「切」に合わせて電源を切ってください。

ヒントとご注意

- リモコンの消音ボタンを押すと、本機からの出力を消音します。もう一度押すと、元に戻ります。
- テレビのヘッドホン端子と接続している場合、テレビ側の音量設定が小さいと、本機の出力音質が劣化することがありますので、適切に調節してください。その場合、使用後は必ずテレビ側の音量設定を元に戻してください。
- 音量調節は、本機と音源機器のいずれでも可能ですが、音源機器側の設定を小さくし、本機側を大きくした場合、他のモードに移行したときに大音量になることがありますので、十分ご注意ください。
- HDMIモード、光デジタルモードで接続している場合は、テレビでの音量設定はできません。
- リモコンのリセットボタンを押すと、音量及び音質、イコライザーの設定を工場出荷時の状態に初期化できます(音量レベル：24レベル 高音・低音：±0 イコライザー：ノーマル)。
- ※小さな音で聴いているときは、リセットにより、大きな音が出力されることがありますのでご注意ください。

Bluetoothで音楽を聴く

ペアリング

はじめて使うとき、以下の手順で必ずペアリングを行なってください。

- ・ペアリングとは、本機をBluetooth機器(スマートフォンやBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に初期登録する操作のことです。
- ・Bluetooth機器が他の機器とBluetooth接続しているときは、本機とのペアリングができないことがあります。事前に必ず他機との接続を解除してください。



- 1** 本機とBluetooth機器を1m以内の距離に近づけ、双方の電源を入れます。
- ・両機器の間には障害物を置かないでください。
 - ・主電源スイッチを「入」に合わせると、モードに応じたインジケータの色に変わります(P.9参照)。



- 2** 本機またはリモコンの入力切換ボタンを押して、Bluetoothモードに切り換えます。
- Bluetoothモードにするとインジケータ(青)が点滅し、サーチモード(接続可能なBluetooth機器を探している状態)になります。

- 3** Bluetooth機器側で、本機を登録してください。

Bluetoothの設定画面を開く

iPhone : [設定]→[Bluetooth]

Android : [設定]→[その他の設定]→[Bluetooth]
[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

NTT docomo : [アプリ]→[設定]→[Bluetooth]

SoftBank : [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth]

au : [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

Windows Mobile : [設定]→[接続]→[Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

本機の名称「ASP-W753Z」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。
※機器によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

本機とのペアリングが完了すると

電子音が鳴った後、インジケータ(青)の点滅が点灯に変わります。
※接続機器やアプリによっては、本機またはリモコンの再生/一時停止ボタンを押すことで、再生を開始できる場合もあります。

ヒントとご注意

●本機の対応プロファイルについて :

本機はBluetooth Ver5.0 / 2.1+EDR(プロファイル : A2DP, AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択をする必要がある機種もあります。その場合は、上記のプロファイルを選択してください。それ以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。

●2回目以降の接続について :

一度ペアリングすると、相手側機器のBluetooth機能が有効なときは、本機の電源を入れ、Bluetoothモードにするだけで、自動接続されます。ただし、機器によっては自動接続しない場合があります。そのときは、以下の手順やBluetooth機器に付属する取扱説明書などを参照し、その都度手動で接続してください。

●ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは :

- ・本機の電源を切り、しばらくしてから入れ直してください。
- ・相手側機器のBluetooth設定画面を開き、本機との接続を確認してください(接続中の状態にあるときは、いったん解除した後、もう一度接続してください)。
- ・上記を試しても正常に戻らない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、改めてペアリングし直してください。

Bluetooth機器の操作について

- ・本機またはリモコンの再生/一時停止ボタンを短く押すたびに、再生⇄一時停止の操作ができます。
- ・音量調節、音質調整、イコライザー設定、消音はテレビなどの接続時と同様に操作できます(P.10参照)。
※本機での再生⇄一時停止操作は、すべての機器に対応するものではありません。機器によっては操作できない場合があります。
- ・終了するときは、リモコンのスタンバイボタンを押すか、本機またはリモコンの再生/一時停止ボタンを長押しして、スタンバイモードにしてください。
※長時間使わないときは、主電源スイッチを「切」に合わせて電源を切ってください。

ヒントとご注意

- 音量調節は、本機とBluetooth機器のいずれでも可能ですが、Bluetooth機器側の設定を小さくし、本機側を大きくした場合、他のモードに移行したときに大音量になることがありますので、十分ご注意ください。
- リモコンのリセットボタンを押すと、音量及び音質、イコライザーの設定を工場出荷時の状態に初期化できません(音量レベル : 24レベル 高音・低音 : ±0 イコライザー : ノーマル)。
※小さな音で聴いているときは、リセットにより、大きな音が出力されることがありますのでご注意ください。

故障かなと思ったら

症状	チェック項目
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">●専用ACアダプターは正しく接続されていますか(外れかけていませんか)。●付属の専用ACアダプターではないアダプターを使っていませんか。●主電源スイッチは入になっていますか。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">●【光デジタル音声ケーブル接続時】光デジタル音声ケーブルは正しく接続されていますか(外れかけていませんか)。●【光デジタル音声ケーブル接続時】ケーブルが曲がったり、丸められたり、束ねられたりしていませんか。●【RCA音声コード接続時】RCA端子や3.5mmステレオミニプラグは正しく接続されていますか(外れかけていませんか)。●【HDMIケーブル接続時】HDMI端子は正しく接続されていますか(外れかけていませんか)。●【Bluetooth接続時】ペアリングは正しく行ないましたか。●【Bluetooth接続時】Bluetooth機器の設定は正しくなされていますか。●【Bluetooth接続時】Bluetooth機器との接続が解除されていませんか。●接続方法に合わせて、本機のモードが正しく選ばれていますか。●テレビなど接続機器の電源は入っていますか。●テレビ側の音声出力先は正しく設定されていますか(機種によっては、音声出力先の切り替えが必要な場合があります。テレビに付属する取扱説明書などをご確認ください)。●本機がスタンバイ状態になっていませんか。
Bluetooth接続時に音が途切れる	<ul style="list-style-type: none">●本機または接続機器の音量が最小になっていませんか。●本機とBluetooth機器が10m以上離れていませんか。●本機とBluetooth機器の間に遮蔽物がありませんか。●周囲で無線LAN機器や電子レンジなどの電波を発する機器、Bluetooth対応のマウスやキーボードを使用していませんか。●周囲に無線機を使う施設や放送局がありませんか。
音質がおかしい	<ul style="list-style-type: none">●イコライザーボタンや高音調整ボタン、低音調整ボタンで音質を変えていませんか。●リセットボタンを押し、改めて調整してください。
リモコンが効かない	<ul style="list-style-type: none">●リモコンの乾電池が消耗していませんか。●乾電池の向きが逆ではありませんか。●本機との間に障害物があったり、本機から離れすぎていませんか。

お手入れのしかた

本体やリモコンの汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

主な仕様

電源	本機：DC18V 2500mA (専用ACアダプター付属) リモコン：DC3V(単4形乾電池×2本 動作確認用乾電池付属)
定格消費電力	約40W
最大出力	総合出力30W(左右スピーカー 5W+5W、ウーファー 20W)
スピーカー	左右スピーカー 口径約40mm(インピーダンス/ 8Ω) ウーファー 口径約93mm(インピーダンス/ 6Ω)
周波数特性	30Hz~18kHz
Bluetooth	通信方式：Bluetooth標準規格 Ver.5.0 / 2.1+EDR プロファイル：A2DP、AVRCP 出力：Class2 最大通信距離：見通し約10m 対応コーデック：SBC
接続入力端子	HDMI端子 光デジタル音声入力端子 外部音声入力端子(RCA L / R端子)
許容動作温度/湿度	温度：0~45℃ 湿度：20~80%(結露なしにて)
外形寸法	幅75.5×高さ6×奥行11.5cm(突起物含まず)
質量	約2.7kg
付属品	専用ACアダプター、RCA音声コード(RCA⇔φ3.5mmステレオミニプラグ)、光デジタル音声ケーブル(角型端子)、HDMIケーブル(ARC対応)、専用リモコン、単4形乾電池2本(リモコン動作確認用)、保証書付取扱説明書

※Bluetoothの最大通信距離は目安であり、使用状況により異なります。

※Bluetooth及びBluetoothロゴは米国Bluetooth SIG, Inc.の商標で、当社はライセンスに基づき使用しています。

※本書に記載している商品名、システム名、社名などは、一般に各社の商標または登録商標です。

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※本製品は、特定無線設備として日本国電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を受けています。

※本書の図版は実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。